

(平成27年 7月分)

種類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>7月の総入荷量は、前年に比べると加工水産物が総じて値上がりしたことにより入荷減少したが、鮮魚と冷凍魚はほぼ前年並みの入荷となり、価格については、台風の影響による値上がりや輸入魚が円安の影響等で値上がりしたため、水産物全般の取扱金額は4%上回った。</p>
(区分別の動向) 鮮魚	<p>7月の鮮魚の総入荷量は、台風などの影響がある中、前年同月並みの入荷を確保したが、産地での価格が値上がりした影響で、平均単価は4%上回った。</p> <p>品目別には、はも（近）は需要が最も増える祇園祭の時期に、台風の通過が重なり水揚げが減ったこともあり、価格が10%上回った。また、土用の丑を迎えたうなぎは、今年のうなぎしらす漁の不漁の影響から、価格は8%上回った。</p> <p>さんま漁は8月10日から中型船、8月20日から大型船が出漁するが、近年温暖化の影響か魚群の南下が遅れる傾向があり、まとまった漁獲はもう少し先になる可能性もある。9月には、日本海の底曳き網漁が全面解禁し、かれい類、にぎす等の入荷が増え、秋の盛漁期を迎える。</p> <p>例年であれば8月下旬から、はもは、お買い求めやすくなる傾向にあるので、はも料理を堪能して下さい。</p>
冷凍魚	<p>7月の冷凍魚の総入荷量は、前年同月並みとなったが、円安の影響などから平均単価は3%上回った。</p> <p>品目別には、値下がりしたノルウェー産冷さば、チリ産冷さけが順調に入荷したことから、前年より冷さばが24%上回り、冷さけが27%上回った。冷えびは、価格が前年より11%下回ったが、消費を喚起する価格水準でなく需要が伸びず、入荷量は3%下回った。</p> <p>アラスカカブリストル湾紅さけ漁は、序盤から中盤までは低調な漁が続き心配されたが、終盤に連日の好漁となり、ここ20年で最大の漁獲量となった。8月から日本向け紅さけの価格交渉が行われているが、豊漁により値下がりが期待される。</p>

加工水産物	<p>7月の加工水産物の総入荷量は、前年同月に比べると5%下回ったことや、原材料価格の高騰などの影響から、平均単価は7%上回った。</p> <p>品目別には、塩紅さけは水揚げが減少したことから、価格は前年より26%上回った。ちりめんは需要が伸びたため、価格は15%上回った。</p> <p>ロシア海域でのさけ・ます流し網漁は、来年から禁止されることとなり、日露漁業交渉による漁獲枠の大幅な減少の影響も重なり、「本ちゃん」の紅さけが値上がりした。</p> <p>今後については、8月16日から対馬沖等で一足先に底曳き網漁が解禁するため、新物の干かれい類の入荷が見込まれ、また、9月1日からは紅ずわいがにのかご漁が解禁し、新物のかに身の入荷が始まる予定である。</p>
-------	--

※生鮮魚：鮮魚、貝類、淡水魚

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品目	市況の概要
(鮮魚主要品目の動向)	
ま　　あ　　じ	京都、愛媛で水揚げされたもの主体の入荷で、入荷量は前年同月と比べ40%上回ったが、大型物の入荷が増加したことから、価格は13%上回った。
ま　　い　　わ　　し	愛知、石川で水揚げされたもの主体の入荷で、入荷量は前年同月と比べ29%上回ったため、価格は10%下回った。
さ　　ば	三重、千葉で水揚げされたもの主体の入荷で、入荷量は前年同月と比べ20%上回ったが、荷動きが良かったため、価格は前年同月並みで推移した。
す　　る　　め　　い　　か	青森、石川で水揚げされたもの主体の入荷で、入荷量は前年同月と比べ15%下回ったため、価格は5%上回った。
太　　物	総入荷量は前年同月と比べ10%上回ったが、単価の高いくろまぐろの入荷が多かったことから、価格は6%上回った。
は　　も　　(近)	徳島、愛媛で水揚げされたもの主体の入荷で、入荷量は前年同月並みだったが、漁獲不振で値上がりしたことから、価格は10%上回った。
た　　こ	岡山、兵庫で水揚げされたもの主体の入荷で、入荷量は前年同月並みだったが、漁獲不振で高値で推移したことから、価格は13%上回った。

品目	市況の概要
(冷凍魚主要品目の動向)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ 24 %上回ったため、価格は 13 %下回った。 ノルウェー産冷さばが、漁獲枠の大幅な増加により値下りしたことが影響し、国内物も弱含みで推移した。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ 11 %下回ったが、小型物主体の入荷となったため価格は前年同月並みで推移した。
(加工水産物主要品目の動向)	
塩 さ け	入荷量は前年同月と比べ 6 %下回ったため、価格は 6 %上回った。 魚種別では、塩銀さけはチリ産が安値水準であったが、塩紅さけは北海道産が日露漁業交渉による漁獲枠の大幅な減少の影響から入荷減少したため、価格が 26 %上回った。
開 干 あ じ	入荷量は前年同月と比べ 16 %下回ったため、価格は 5 %上回った。